

静謐でドラマチックでエネルギッシュなあのステージが再び…！

ザ・シャーラタンズ 2016年3月来日公演開催!!!

3/7(月)大阪: umeda AKASO、3/8(火)東京: Shibuya O-EAST



サウンド面で様々な試みを見せた、昨年2月リリースの新作『モダン・ネイチャー』を引っ提げ、昨年3月に東京・大阪で開催されたイベントでは数々の代表曲と新曲の絶妙なバランスでこれ以上無いという程に、素晴らしいセット・リストで会場を大いに湧かせてくれたザ・シャーラタンズ。独特のハモンド・オルガンのサウンドとリズムカルなギター・リフがいつ聴いても色褪せず、聴き返す度にプリティッシュ・ロックを好きになったあの頃を思い出す…。そんなザ・シャーラタンズが今年は単独公演で、再び3月に日本に戻って来る！度重なるメンバーの死に襲われ、バンドとして幾度となく困難を乗り越えて来た彼らの、静謐でありながらも、ドラマチックでエネルギッシュなステージは観る度にあなたの心に深く刻まれる。尚、チケットは一般発売に先がけ、本日から1/19(火)まで**ぴあプレリザブ**先行受付を実施、その後1/23(土)から1/26(火)まで**yahoo!チケット**先行受付が実施となる。

ザ・シャーラタンズ ライヴ・イン・ジャパン 開催概要

【公演タイトル】 ザ・シャーラタンズ / ライヴ・イン・ジャパン

【開催日時・会場】 <大阪>2016/3/7(月) umeda AKASO <東京>2016/3/8(火) Shibuya O-EAST 開場 18:00 / 開演 19:00

【チケット料金】 東京・大阪共にスタンディング：¥8,500(税込) ※未就学児入場不可/枚数制限4枚

【先行発売情報】 ①**ぴあプレリザブ**先行：http://w.pia.jp/t/thecharlatans/

受付期間：1/15(金) 12:00 ~ 1/19(火) 23:59

②**yahoo!チケット**先行：http://r.y-tickets.jp/charlatans1601

受付期間：1/22(金) 12:00 ~ 1/26(火) 23:59

【一般発売日】 2/6(土) 10:00

【お問い合わせ先】 <東京>サンライズプロモーション東京 TEL: 0570-00-3337 (10:00~18:00) http://sunrisetokyo.com/

<大阪>キョードーインフォメーション TEL: 0570-200-888 (10:00~18:00) http://www.kyodo-osaka.co.jp/

最新の公演情報はコチラから！ <http://www.livenation.co.jp/>

後援：(東京) InterFM897 (大阪) FM802、FM COCOLO 企画: Live Nation Japan 制作・招聘: エイハックス・ライブ・クリエイティヴ

協力: ビッグ・ナッシング 運営: (東京) サンライズプロモーション東京 (大阪) キョードー大阪

[Live Nation Japan facebook](#) / [Live Nation Japan twitter](#) / [Live Nation Japan Instagram](#)

※記載の内容は予告なく変更になる場合がございますのでご了承下さい。

ザ・シャーラタンズ バイオグラフィー

1988年、ベースの Martin Blunt (マーティン・ブラント)、ドラムの Jon Brooks (ジョン・ブルックス)、キーボードの Rob Collins (ロブ・コリンズ) を中心に、英ウエスト・ミッドランズにて結成。直後、ザ・ストーン・ローゼズなどの前座を務める。1989年にヴォーカルの Tim Burgess (ティム・バージェス) とギター of John Baker (ジョン・ベイカー) が加入し活動を本格化。1990年、マンチェスターブームの中、ファーストシングル「Indian Rope」を発売。自主リリースながら英インディー・チャートの1位を獲得し、ベガーズ・バンケット傘下のレーベル、シチュエーション・トゥーと契約する。

同1990年、プロデューサーにクリス・ナグル (ジョイ・ディビジョン、ニュー・オーダー他) を迎え、ファースト・アルバム『Some Friendly (サム・フレンドリー)』をリリース。全英チャートの1位を獲得。インディー・バンドとしては破格の成功を収める。1991年、ジョン・ベイカーに代わり Mark Collins (マーク・コリンズ) が加入。『Between 10th And 11th (ビトゥーイーン 10th アンド 11th)』(1992年 / プロデュース: フラッド / 全英 21位)、『Up To Our Hips (アップ・トゥー・アウ・ヒップス)』(1994年 / プロデュース: スティーヴ・ヒレッジ他 / 全英 8位) を経て、1995年、メンバーとエンジニアのデイク・チャールズの共同プロデュースを軸にした4枚目のアルバム『The Charlatans (ザ・シャーラタンズ)』をリリース。アルバムは再び全英チャートの1位を獲得する。

1996年、ロブ・コリンズが交通事故で他界。バンドはサポート・メンバーを加えてライブやレコーディングを継続し、メンバーとデイク・チャールズの共同プロデュースによる5枚目のアルバム『Tellin' Stories (テリング・ストーリーズ)』を1997年にリリース。アルバムは全英チャートの1位を獲得し、バンド史上で最高の商業的成功をおさめる。その後、メジャーの MCA / ユニバーサルと契約し、Tony Rogers (トニー・ロジャース) がキーボードとして加入。『Us And Us Only (アス・アンド・アス・オンリー)』(1999年 / セルフ・プロデュース / 全英 2位)、『Wonderland (ワンダーランド)』(2001年 / プロデュース: ダニー・セイバー他 / 全英 2位)、『Up At The Lake (アップ・アット・ザ・レイク)』(2004年 / プロデュース: ザ・シャーラタンズ&ジェームズ・スペンサー / 全英 13位) とリリースしていく。

2006年、バンドはサンクチュアリと契約。同年、ジム・ロウ (ステレオフォニックス他) とバンドの共同プロデュースによる9枚目のアルバム『Simpatico (シンパーティコ)』をリリース。2008年には新たにクッキング・ヴァイナルと契約し、10枚目のアルバム『You Cross My Path (ユー・クロス・マイ・パス)』(プロデュース: ザ・シャーラタンズ&ジェームズ・スペンサー / 全英 39位) をリリース。2010年には11枚目のアルバム『Who We Touch (フー・ウィ・タッチ)』(プロデュース: ユース / 全英 21位) をリリースするも、その後のツアーのステージ上でジョン・ブルックスが脳腫瘍で倒れ、2013年にジョンは入院先の病院で他界。

[メンバー]

Tim Burgess (ティム・バージェス) / Vo

Mark Collins (マーク・コリンズ) / G

Martin Blunt (マーティン・ブラント) / B

Tony Rogers (トニー・ロジャース) / Key



ニュー・アルバム『モダン・ネイチャー』発売中!!

■品番: OTCD-4360 ■定価: ¥2,300+税 ■解説/歌詞/対訳付

■国内盤ボーナス・トラック 8曲収録

ジャパン・オフィシャル・サイト

<http://www.bignothing.net/thecharlatans.html>

<本件に関するお問い合わせ先>

エイバックス・ライブ・クリエイティヴ株式会社 メディアプロモーション課 井上智春

TEL03-5545-9284